

2024. 7. 7

北九州市教職員組合にゆうす



第33回 市教組定期大会、開催される！NO.3

今大会で「論議されたもの」のつづきです。

教研、8・6を例年行っているが、組織強化、組織拡大に繋げるためにどのような見通しを持っているのか？(冨野代議員)



岩井教文部長の答弁

今、組合員が少ない、いわゆるゼロ分会や1人分会が多い中、まず組合の活動を知ってもらい、参加してもらうことが大切だと考えている。教文部としてその機会が教研であり、8・6だと捉えている。教研は、数年前より未加入者も参加しやすいように互助会とタイアップした教職員セミナーという形もとっている。6月8日(土)に朝鮮学校の李先生に来ていただいて朝鮮学校についてお話ししてもらった。60名を超える参加者があった。分科会も初めて参加する方がいるなど中身の濃い教研活動になった。しかし、若年者や未加入者の参加を増やさないといけない。



2期教研は「夢見る校長先生」という映画の上映を予定している。先日、教文部で福教大の上映会に参加した。とても興味深い内容で、たくさんの教職員に観てもらいたいと感じた。上映日時、上映会場など決定次第お知らせしたい。そういう中で組合の活動に触れ、興味を持つ人を増やし、組織拡大、強化に繋げたい。最後に、今後より魅力的な教研、8・6にするために多くの方の参加や協力が必要である。聞いてみたい内容、おすすめの講師等是非らせてほしい。あわせて全組合員による情宣もお願いする。

青年部は具体的にどんな活動を予定しているのか？(宮崎代議員)



原口青年部長の答弁

青年部では、組織拡大・強化を中心に活動したい。まずは組合員同士での結束を深めるため、BBQ大会、飲み会などを行う予定。その中で未組の方にも声をかけ、少しずつ組織拡大にも繋げて行きたいと考えている。



神野代議員が討論に参加

昨年、久しぶりのフラワーアレンジメントや初めての自力整体が開催された。

なつかしい仲間との再会と、新しい方、若い方たちと交流することができ、楽しい時間を過ごせた。女性部の学習会は、学習することももちろんだが、会って、顔を見て、話をすることで「よし、わたしももう少しがんばれる」という気持ちになる。今年度は、「春をよぶ会」も復活する計画があるそうで、楽しみだ。また、来週には、県互助と一緒にローズさんのリンパドレナージュ体験もあり、それも楽しみである。

小学校では、多様性の学び、命の学習として、ローズさんを招いてのコンサートも広がっている。ローズさんが「ひとり一人、ありのまま、なりたい自分になって大丈夫だよ」と言ってくださる言葉に子どもたちも私たちもホッとしている。ローズさんは、北九州スタンダード制服を着て来られ、スタンダード制服を選ぶことができるようになった喜びと、まだ思い通りの選択ができない子どもたちがいることを話してくれる。北九州市ではスタンダード制服を選ぶことができるようになって4年が経ったが、まだまだ本当に誰もが選びやすい環境には、なってないと思う。まだまだ、学校や地域全体での理解の広がりが必要だと思う。このとりくみが小学校でも中学校でも広がっていくことを期待している。(個人的には、形だけのことで言うと…長めのキュロットスカートのようなものがあると選択の幅が広がるかな…と思っている。)

まずは、多様性を認め合えるよう わたしも 学んでいきたいと思っている。



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953 - 0381

